

あまでうす

『妖怪は身近な存在』

『あやかし』を小説... 京都・夏彦の『小説』... 『あやかし』を小説...

では滑り親しみ... 妖怪の存在... 『あやかし』...

江戸時代の浮世絵... 『あやかし』の描いた... 『あやかし』の描いた...

他、師、浮世絵師、描きたり、斎藤岩北、さくらんぼ、さくらんぼ...

「そや、かて、もう皿...」と、そのお鍋、もう皿...

う... 土佐光信の『百鬼夜行』... 『あやかし』...

風地蔵新聞

久しぶりの九州旅行

鎌澤 宣子

久しぶりの九州旅行... 久しぶりの九州旅行...

のをドキドキしながら待ちます。

写真や動画では見えない... 写真や動画では見えない...

第171号

発行 編集 風地蔵 白石 美帆...

凱翔君にも似てる... 凱翔君にも似てる...

で、みんなであつきました。久しぶりに社長の手料理の鍋を食...

のか面白いなと思いましたが。ずっとこのまままでもいいんじや...



### お便りします

今日は小春日和でした。明日からまた寒くなるようです。もう12月1年の経つのがなんと早いこと

でも今年には元気で結婚式を迎えることが出来、感謝しております。長いようで短い50年でした。これからも2人で元気に過ごしていきたいと思っております。いつもお便りありがとうございます。

私も柿大好きです。新聞ありがとうございます。私がお便りしました。宣子さん文章お上手ですね。いつも感心しています。ありのままを場所、風景、ふれあい等いつも楽しく想像し読んでいます。私には文章力がないのでうらやましいです。宣子さんがおっしゃるように絵手紙でやりとりこれも縁だと思えます。白石さんとの出会いがあったので、宣子さんとのこうして交流させて頂きありがとうございます。今年も残り少なくなり

ました。お体には気を付けて下さい。色々とお世話になりました。良いお年をお迎え下さいませ。(太宰府 人見さん)

雲一つない青空の下、久しぶり家事を頑張りました。転勤して10年、自由でさまざまな生活が慣れっこになって遊ぶこと一番

家事はその間をぬってやっていると感ずります。遊ぶこと大好きですが、書くことの苦手は中々直りません。風地蔵の皆様、素敵な文章で分かり易く読ませて頂いております。そのうち挑戦してみたいです。ありがとうございます。(太宰府 中野さん)

いつも新聞お送り頂きありがとうございます。うまい文章でもありませんが載せて頂きありがとうございます。寒さ厳しき折お体大切に。 (春日 村山さん)

私はまだ、高千穂峡に行つたことがないので行つてみたい場所の1つです。神話の国、神様が誕生した場所とも聞くと、意外に写真で見るとより小さいと聞きました。そして黒川温泉にも行つたことがないです。

あいかわらず話だけ聞きます。お店のロゴマークをつくつてもらうのに何枚ものラブコールを送っていたとは知りませんでした。

突然の別れです。心も準備も何もなく、ただ泣くことしか出来ない。経験はないけどそう思います。何年経つても心がなかなか癒えないという方も多々あります。まだほんの2ヶ月しか経っていない。その方にしかわからない悲しみです。

寂しい気持ちになります。寂しい気持ちになります。寂しい気持ちを重ねることは悪いことではないと思えますよ。

とでは無いと思えますよ。考え方1つです。「高度経済成長期の昭和30〜40年代を知らないなんてかわいそうに」と言われたことがありますが、本当にすごかったんだらうと思いましたが、本当にすごかったんですね。(HARA)

私も高千穂峡はテレビでの映像で見たことがありません。神が住まうまちとも言われています。

素晴らしい風景だったでしょうね。私も実際目でみたいです。うらやましいです。らんちゃんも一歳をすぎ歩き出し、目が離せませんよね。ついこの間産れた「おめでと〜う」と言っていたのにですよ。二人目も三月に無事産まれることを願っています。私も昨日よく犬の散歩道で声をかけお話をしていたお婆あちゃんが亡くなったことを知りました。

今年50歳になった私。同級生がたくさん風地蔵にきてくれます。再会が嬉しい年でした。(大橋)

ある日居るのが当たり前になっていく人がいなくなるというのは、寂しいですね。でも女は強いんです。いとお婆さん孝行できましたね。

奥田さん、年を重ねていくことは、いろんな事がありますね。私のご近所のご主人が亡くなったとこの前知りませんでした。黒川山河の女将さんの人なつっこい笑顔を思い出しました。あまでうすさんの読んでいて亡くなった母がよく呉服屋さんの招待旅行に行っていたことを思い出しました。(鎌澤)

### 雑煮

大橋 美紀

もういくつ寝るとお正月♪ですね

お正月というとお雑煮です。風地蔵でも具雑煮がメニューに三年前から加わりました。オーナーの出身熊本・島原地方に、今も残る具雑煮。島原の乱で指揮をとつた天草四郎が栄養を考へ生み出した雑煮です。

お野菜がたっぷりもちが入った物ですが、風地蔵では、オーナーこだわりのあん入りのおもちが一つだけ入っているんですよ。今、風地蔵では、1年中お出しできるようにいつも準備してあります。

そして家庭内の雑煮というとお正月に食べるというのが定番です。私が子ども頃は、12月28日に必ずもちつきをし、お供えの鏡餅や四角に伸ばしたのしもちを作りました。そして年が明けた1月1日からおもちがなくなるまで毎朝雑煮でした。具雑煮と違ってこの地方ではだし汁に、おもち、そして入れる野菜はもち菜だけ、年末にはスープの入り口付近に山のようにもち菜が売られます。そして煮上がったらかつおぶしをかけるだけの本当にシンプルなおいしいと思つて食べるのですがこ

れが何日も続くと、もう食べたくなくなるのです。私の目の前でいつもおいしそうにパクパクおもちを食べる父を見るとき、又食べたくなるのですが、やっぱり飽きてしまう。今私は元旦にしか食べないと決めてしまいました。関東風の雑煮はカツオと昆布から取った醤油仕立てのすまし汁に焼いた角餅を入れ、具材は鶏肉、大根、小松菜、人参、かまぼこなどを入れあつさり味・関東風は、白味噌を使った味噌仕立て

餅はその年を丸く収めるといふ意味から焼かず丸餅を入れる白味噌に合う里芋、大根、人参などを入れるといわれています。ですが、全国各地で作りますが全然違います。ちよつと面白い雑煮を調べてみました。香川の雑煮は白味噌を使った関西風の雑煮に「あんこ餅」を投入するそうです。鳥取のお雑煮はあずきと餅で作るそうです。「おしるこ」みたいです。島根はお吸い物下手のお雑煮に、たつぷりと岩のりを振りかけ見た目は、真っ黒だそうなんです。岩手は関東風の醤油仕立てのお雑煮に入つた餅を取り出して「きなこ」をまぶし

てから食べるらしいです。もつともつと変わったお雑煮がありそうですよ。風地蔵のお雑煮が食べたくなりました。栃木の酒粕仕立てもおいしいそうです。そして47都道府県の中で沖繩だけはお雑煮がないとネットに書かれていました。が、お客様に沖繩出身の方がいらつしやるので真実を聞いてみたいですね。この地域は、なぜ「もち菜」だけのお雑煮なのでしょう？色々お正月の話にもお正月のお話をするのも楽しそうですよ。

秋のまちゼミ②

原由里子

10月16日まちゼミです。

実はこの日、同じ日に3つのまちゼミに時間をずらして参加するという、なかなか忙しい日です。

しかも雨降り。私は自転車なのでレインコートを着ないといけないので、脱いだ着たりと、結構大変なんです。

この日のスケジュールは、10時30分から「口紅探し」のおおはし薬局、15時30分から「作って食べる！和菓子の華上生菓子体験」の金蝶園総本店。18時から「コーヒーマイスターが淹れる自家焙煎珈琲飲み比べ」の珈琲幸房多香に参加します。

それと、10月22日（日）に選挙があるので、出かけたついでに期日前投票も行くかと思っていたので、ある意味”充実”した日になりました。まず最初に参加したのは、「口紅探し」

”あれっ、他の参加者？”私以外、誰もいないので訪ねると、私ともう1人参加の申し込みがあったのですが、都合が悪くなりキャンセルされたので、私1人の参加のようです。

”さて、何を教えてもらわれるのかな？”と思っ

ていました。けど、本当に口紅探しのようで、いくつもの口紅が用意されていて、つけてはとって塗ってと普段塗らない色も試して自分

分に本当に似合う口紅を探すと、口紅探しは間違っ

てはいないんですが、私の期待している物と少し違っていました。

意外に真っ赤な口紅も似合うことが分かったの

でいいんですが・・・。眉毛も描いてもらえ

言って描いてもらいましたが、見なれない眉なると、どう見ても自分には似合わないと思いつつながら、お店をあとにしました。

次のまちゼミまで時間が

があり、期日前投票と昼食を済ませました。さすがに、眉も書き直し

ました。ちなみに、この日の期日前投票は人が多く、車が混雑して

いました。今度は大垣駅の近くにある金蝶園総本店

です。二百円で和菓子を作

って食べられるのが、最大の魅力です。

早めに行き、店内で”ふわふわ”というお菓子とお茶を飲みながら時間

が来るのを待ちました。実は今、大垣市では「大垣スイーツ」というのを

行っています。そのお店に行き、美味しいなと思

ったお店に投票する名前・住所・おもしろいと思ったお店もエントリー番号、

出来れば感想を書いて投票箱が設置してあるので、

投票します。一二店舗の中から一位〜三位まで選ばれて、

来年の3月のハツラツ市で発表されるという物です。

風地蔵もぜひエントリーして金蝶園総本店も”ふわふわ”でエントリーされているので、食べたものもあり投票しました。

ちなみに私が食べた”ふわふわ”季節によつて中に入っている物が変わるので、約30種類以上あるそうです。

くして、3色の餡でつむ和菓子。

もう一つは季節を現す”菊”の和菓子です。

まず最初に、栗きんとんを作ります。

3色の餡をそれぞれ丸くまるめて、くっつけて手のひらで平らにします。

そして真ん中に丸くした栗きんとんをのせて、

つつんでいきます。講師の店主の方は一つ

をつつむのに数秒、私達はつつむのに一〜二分。

当たり前話です。器用な方や料理が得意な方は、もっと早くつ

めると思います。一〜二分かけてつつんだのと職人さんのつつ

だものは美しさが全然違います。和菓子は見た目が命。自分のつつんだ和菓子を見て一言。誰

も買わないな”と思います。次に”菊”の和菓子です。中身は、あんこです。これこそ、職人技が走ります。

丸くした小豆を手のひらで平らにした餡の中央に置いてつつみ、丸くします。

ここでは、和菓子の道具を使いま

す。木で出来た三角形の型をした道具

で、三角形の角を使い、下から上に線を少し斜めに入

れながら餡全体に線をつけていきま

す。最後に一番上に、黄色の餡をのせて”菊”の和菓子が完成

です。もう一つ、三角形の木の道具を和菓子から離さない

ように斜めに入れたいく、さらに難しい技です。

不器用なくせに菊”の和菓子を作る私。

あまりにひどい出来栄に写真を撮る価値もなく、とつとと食べました。

作っている途中、来たかった参加者が一五分遅れでみえました。

携帯電話を忘れたのと、時計をもっていないように

で、自分はちょうど来たと思

い込んでいたようで遅れてきたという感覚がなかったよう

です。ようやく3人揃い、和菓子を作り、食べながら

質問とお喋りタイムになりました。

大垣市にあった和菓子屋さんは昔に比べ、半分

くらいに減ったそうです。一番の理由は、跡継ぎ

がいらないということらしいです。

あと、お通夜でお菓子を

持つて行く”とぎ参り”も減っているそうです。家族葬が増えていると

いう、背景もあるらしいです。

ちなみに私の父の実家は岐阜県中津川市。中津川は、仏教ではなく神道

です。お坊さんではなく神主さんを葬式に呼びま

す。「かなえたまえ、きよえたまえ」です。

神道はお通夜がなく、いきなり葬式なので”と

ぎ参り”を知ったのも、ここ最近の話です。

そういうのもあり、和菓子離れもあるようです。

実は私と一緒に参加したお二人は年配の女性で、

風地蔵にも来たことがある方でした。

「いつも、お店の前を通ると挨拶してくれるのよね。」はい、それ私です

ね。そして、一人の方は風地蔵のソファ席が置いてある部屋にある障子に書

を書いて下さいました、先生のお姉さんでした。

意外なつながりにビックリしました。

時間になり、話ながらもアンケートを書き終わっていた私。渡してお店を

あとにしました。すっかり和菓子のお土産も頂き、次のまちゼミ

です。が、続きは次号にて。つづく

一年いろいろ

あっという間に年の瀬。毎年特に振り返ることはないが、忘年会などで色々メンバーと話したりすると、「それって今年だった？」という事が多い。

いろんなことが次々と起きすぎて、少々のことでは驚かなくなった。メンバーが心筋梗塞で死にかけ。一人クビにする。東京からメンバーが加わる。刑事がやってくる！雪の日に追突され軽トラック廃車。

そして何と言っても岐阜市景観賞を受賞！風景・まちづくり部門は過去にあの柳ヶ瀬の伝説「やなな」も受賞。

いいことも、悪いことも、いろいろ。毎日、毎年淡々と生きるのみ。

庭師 奥田良樹